

厚木市議会議員有志 「秘密保護法案の廃案を 求める声明」を発表

特定秘密法案について、厚木市議会議員有志が下記のような
「廃案を求める声明」を12月6日発表しました。

特定秘密保護法案の廃案を求める声明

12月5日、参議院特別委員会において「特定秘密保護法案」が、与党のみの賛成で強行採決されました。

国民の間で、日に日に不安の声が広がる中での審議打ち切りは、民主的手続き上から見ても暴挙といわざるをえません。

同法案は、国民全体に影響を与えるものであるにもかかわらず、内容の浸透も不十分なままであり、参議院特別委員会の審議の中でも、新たな第三者機関が浮上したにもかかわらず、十分な審議がされないままです。

特定秘密保護法案は、国民の知る権利、表現の自由を奪いかねない法案であり、危惧するところであります。

市民の生活と権利を守る議会人の有志として「特定秘密保護法案廃案を求める声明」を発表します。

2013年12月 6日

厚木市議会議員

賛同者 釘丸久子・栗山香代子（日本共産党） 奈良握（厚木市民の党）

名切文梨・古川環（民主クラブ） 内川由喜子（神奈川ネットワーク）

松前進・高田浩（改革あつぎ）

8人